

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ	
-----------	--

② 施設・事業所情報

名称：保育園キディ百合丘・川崎	種別：認可保育所	
代表者氏名：武田正志	定員（利用人数）： 70名（利用者：72名）	
所在地：〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-16 サンラフレ百合丘7-201		
TEL：044-322-0510	ホームページ： <a href="https://www.shinkoufukushikai.com/">https://www.shinkoufukushikai.com/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2010年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 伸こう福祉会		
職員数	常勤職員：18名 非常勤職員：13名	
専門職員	（専門職の名称） 名 看護師 2名	
	園長 1名 栄養士 1名	
	主任 1名 調理師 1名	
	保育士 23名 調理補助 3名	
	保育補助 1名 事務員 1名	
施設・設備の概要	（居室数） 保育室 6室	（設備等） 園庭 なし
	トイレ 4ヶ所	
	調理室 1ヶ所	
	事務室 1室	
	職員ロッカー室	
	シャワー室	
	木浴室	
	エントランスホール	

③ 理念・基本方針

<p>【保育理念】 子ども一人ひとりを大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園。</p> <p>【保育方針】 一人ひとりの子どもが心身ともに健康で安全に安心して成長できるように、健やかな育ちを支えます。 保護者と良い協力関係を築きながら、子どもの育ちや子育てを支えます。 地域の方々や関係機関と協力し、地域の子育てを応援します。</p> <p>【保育目標～心身ともに健康で明るい子ども～】 元気に遊び、健康な心と身体をつくる。</p>
---

自発的な遊びや行動を大切にしながら、自分の想いを表現し、一緒に楽しむ。  
相手の気持ちを考え、仲良く遊べる心を育てる。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

集合住宅のワンフロアで運営している保育園です。各クラスを棚で仕切ることで開放感と一体感をもってアットホームな雰囲気の中で日々保育をしています。園庭はありませんが、近くに大小様々な公園が沢山あり、日々子どもたちの成長や目的に合わせて公園を選び遊びに行っています。また、魚の解体ショーやさんまの食べ方講座などの食育、パントマイムショーや人形劇など地域の方との交流を通して子どもたちに様々な経験や体験をしてもらえる環境づくりにも取り組んでいます。

また以下の標語（ベーシック）を大切に日々取り組んでいます。

個性を認める～ありのままを認める保育～  
可能性を伸ばす～挑戦する、達成感を感じる、夢をもつ～  
個別に接する～集団の中の個を見つめる、自主性を養う～  
愛を注ぐ～相手を信頼し、優しさ、思いやりをもつ～

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年8月15日（契約日） ～ 令和5年1月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 人権宣誓書の策定により職員の意識改革に取り組んでいます

職員は、人権擁護に関するセルフチェックを毎年行い、保育中の自身の行動を確認をしています。セルフチェックの結果を定期的に集計し分析しています。その結果を踏まえ、玄関ホールに「人権宣誓書」として掲示し、意識を高めています。現在は、否定的な言葉「走らないよ」から肯定的に「歩こうね」を掲示しています。穏やかな言葉かけが自然に出るまで「人権宣誓書」に明記し、注意を喚起しています。うっかり出てしまう言葉が、子どもの意思表示や行動を妨げないように、後押しできる言葉かけを意識し、振り返りを重ねながら保育実践を行っています。

2) 保護者と職員にリフレッシュ支援をしています

保護者が一時的なリフレッシュや休息を取りながら自身の心と身体を労ることが大切とする考えから、保護者のリフレッシュ等、レスパイト支援を行っています。園は、保護者だけでなく職員にもこのレスパイトを適用し、休暇が取得しやすい環境を作るなど保護者・職員がリフレッシュをしながら、心身共に健康で、安全な環境の中で保護者と共に子どもの成長を喜べる支援に取り組んでいます。

3) 充実した会議で情報共有及び課題の解決に取り組んでいます

午睡の時間を活用して、0～2歳児クラスでは各クラス月2回、3～5歳児クラスは合同で月1回に設定し、複数の担任間で十分に討議しています。また、土曜日に行う全スタッフ会議でも討議して決定しています。各クラスの指導計画や全体的な計画、個別支援計画もこれらの会議で検討しています。

4) 単年度計画の策定が期待されます

年度ごとに実施する理念・保育方針・保育課程の理解、利用者調査や職員の自己評価など、各評価結果から課題・改善策について検討し、保育目標として職員・保護者に周知しています。しかし、「単年度報告・単年度計画」として明文化していません。今後は、保育内容だけでなく、保育環境全体の向上が視覚的・継続的に確認できる「単年度報告・単年度計画」を職員参画で策定することが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回第三者評価を実施したことで、自園の強みや弱みなどを客観的に確認することができた。また自己評価をグループワーク形式で様々な職員が関わったことで各自が自分事として取り組めたことは共通の課題認識を持ち一緒に取り組んでいくことに繋がった。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり